小学6年　社会

むらから くにへ

狩り・採集の くらしから、米づくりの くらしへ

自分で 考えて 書きましょう。わからない ときは、QRコードで 動画の 場面を 見よう。

(1) 「木の実を 集める」「高床の 倉庫に 米を たくわえる」「たて穴住居」の 中で、米づくりが 広まってからの くらしを いちばん よく 表して いるのは どれですか。

動画で 見る
場面 4
「米づくりの くらし」

(2) むらが まとまって くにが できていったのは、なぜですか。

動画で 見る
場面 5
「むらから くにへ」

小学6年　社会　答え

むらから くにへ

狩り・採集の くらしから、米づくりの くらしへ

1 「木の実を 集める」「高床の 倉庫に 米を たくわえる」「たて穴住居」の 中で、米づくりが 広まってからの くらしを いちばん よく 表して いるのは どれですか。

ヒント 米づくりと つながりの ある ものを さがそう。

答え **「高床の 倉庫に 米を たくわえる」です。弥生時代にも 木の実を 集めたり、たて穴住居に 住んだり していましたが、米づくりと いちばん つながりが ある のは、とれた 米を 高床の 倉庫に たくわえる ことです。**

2 むらが まとまって くにが できていったのは、なぜですか。

ヒント 米づくりと、むらどうしの 関係を 考えよう。

答え **米づくりが 広まって むらの くらしが 変わり、水や 土地を めぐって 争いも 起こる 中で、力の 強い むらが まわりの むらを まとめていったからです。**